新エネルギー自動車産業発展計画
（2021～2035 年）

国務院

［ 本仮訳文章の利用の注意 ］
本仮訳は、新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）北京事務所が、中国における政策動向の把握と広報を目的に作成したものである。
内容や誤記を含め、本仮訳文章の利用に伴ういかなる不利益についても、当機構は責を負わない。
内容を引用する際や重要な意思決定の参考とする際には、かならず中国政府の発表している原典資料を参照されたい。

［ 中国政府による発表文書 ］

国务院办公厅关于印发新能源汽车产业发展规划（2021–2035 年）的通知

http://www.gov.cn/zhengce/content/2020-11/02/content_5556716.htm

国務院弁公庁　新エネルギー自動車産業
発展計画（2021～2035 年）の公布に関する通知

国弁発[2020]39 号

各省、自治区、直轄市人民政府、国務院各部委員会、各直属機関　御中

「新エネルギー自動車産業発展計画（2021～2035 年）」はすでに国務院の同意を得た。ここに印刷、配布するので、真摯に貫徹、実施されたい。

国務院弁公庁

2020 年 10 月 20 日

（本文書は公開公布する）

新エネルギー自動車産業発展計画（2021～2035 年）

新エネルギー自動車の発展は、中国が自動車大国から自動車強国へと邁進するために避けて通れない道であり、気候変動に対処し、グリーン発展を促進するための戦略的措置である。2012 年に国務院が「省エネルギーと新エネルギー自動車産業発展計画（2012～2020 年）」を発表、実施して以降、中国では純粋な電気駆動の戦略的方向性を徹底し、新エネルギー自動車産業の発展は巨大な成果を上げ、世界の自動車産業の発展の転換における重要な力の一つとなった。これとともに、中国の新エネルギー自動車の発展においては、中核技術の供給が不足し、品質保障体系の改善が必要とされ、インフラ整備はなお遅れており、産業エコシステムが整備されておらず、市場競争が激化しているなどの問題に直面している。新エネルギー自動車産業の質の高い発展を促進し、自動車強国の構築を加速するために、本計画を制定する。

第一章　発展の趨勢

第一節　新エネルギー自動車が世界経済の発展に新たな活力を注ぐ

現在、世界で新しい科学技術革命と産業変革が大いに発展し、自動車とエネルギー、交通、情報通信などの分野の関連技術の融合が加速しており、電動化、コネクテッド化、インテリジェント化、共有化が自動車産業の発展の流れおよび趨勢になりつつある。新エネルギー自動車は、新エネルギー、新素材およびインターネット、ビッグデータ、人工知能など多種の変革的技術を融合し、自動車の単なる交通手段からモバイルインテリジェント端末、エネルギー貯蔵ユニットおよびデジタル空間への転換を促進し、エネルギー、交通、情報通信基盤の改造・高度化をけん引し、エネルギー消費構造の最適化、交通システムおよび都市運営のインテリジェント化を促し、清潔で美しい世界を建設し、人類運命共同体を構築する上で重要な意義を持っている。ここ数年、世界の主な自動車大国が次々に戦略計画、政策支援を強化し、多国籍自動車企業は研究開発への投入を拡大し、産業体制の整備を進めており、新エネルギー自動車はすでに世界の自動車産業の転換・発展の主な方向性および世界経済の持続的な成長を促すための重要な原動力となっている。

第二節　中国の新エネルギー自動車が加速的発展の新たな段階に入る

自動車製品の形態、交通移動モデル、エネルギー消費構造および社会の運営方式に大規模な変革が起きており、新エネルギー自動車産業にこれまでにない発展の好機を提供している。長年の継続的な努力により、中国の新エネルギー自動車産業の技術水準は明らかに

向上し、産業体系が日増しに整備され、企業の競争力が大幅に強化され、2015 年以降、生産販売台数、保有台数は 5 年連続で世界第 1 位となった。産業は重なり合って融合的に発展する新たな段階に入った。戦略的好機を着実に捉え、好ましい情勢を揺るぎなく維持し、インフラストラクチャ、情報通信などの分野の優位性を十分に活かし、産業のコアコンピタンスを絶えず高めて、新エネルギー自動車産業の質の高い持続可能な発展を促進しなければならない。

第三節　融合・開放が新エネルギー自動車の発展の新たな特徴となる

自動車産業の動力源、生産運営方式、消費使用モデルの全面的な変革に伴い、新エネルギー自動車産業エコシステムは部品、完成車の研究開発・生産および営業・販売サービス企業の間の「チェーン型の関係」が、次第に自動車、エネルギー、交通、情報通信などの多くの分野、多くの主体が関与する「ネットワーク状のエコシステム」へと進化しつつある。相互作用、協調的な発展は、各種市場主体の壮大な発展の内在的な需要となり、業界・分野横断的な統合イノベーション、およびより開放的で包摂的な国際協力が新エネルギー自動車産業の発展の時代における特徴となり、産業の発展の原動力を最大限に強化し、市場の活力を喚起し、融合・共生、提携・相互利益からなる産業の発展の新たな構造の構築を促進している。

第二章　全体計画

第一節　全体構想

習近平新時代の中国の特色ある社会主義思想を指針とし、イノベーション、協調、グリーン、開放、共有の発展理念を堅持し、供給側構造改革の深化を主軸とし、電動化、コネクテッド化、インテリジェント化の発展の方向性を堅持し、新エネルギー自動車発展国家戦略を踏み込んで実施し、融合によるイノベーションを重点とし、基幹技術の進展を実現し、産業の基礎力を高め、新型の産業エコシステムを構築し、インフラストラクチャシステムを整備し、産業の発展のための環境を最適化し、中国の新エネルギー自動車産業の質の高い持続可能な発展を促進し、自動車強国の構築を加速する。

第二節　基本原則

市場主導。資源配分における市場の決定的役割を十分に発揮させ、技術路線の選択、生産サービスシステム構築などの面における企業の主体的地位を強化し、戦略的な計画指導、規格・法規の制定、品質・安全の管理監督、市場の秩序維持、グリーン消費の指導などの面における政府の役割をより適切に発揮させ、産業発展のための好ましい環境を醸成する。

イノベーションによる駆動。イノベーション主導型発展戦略を踏み込んで実施し、企業を主体とし、市場を導きとし、産学研用（企業・大学・研究機関・実用化）を連携させる技術革新体系を確立し、イノベーションのインセンティブと保護のための制度環境を整え、多種の技術路線の並行発展を奨励し、各種主体の協力による基幹・中核技術の難題解決を支援し、ビジネスモデルの刷新を奨励し、新型の産業のイノベーションエコシステムを形成する。

協調・推進。水平方向の連携、垂直方向の接続の協調・推進の仕組みを整備し、新エネルギー自動車とエネルギー・交通・情報通信の高度な融合を促し、技術の研究開発、規格の制定、応用の普及およびインフラストラクチャの整備を統括的に推進し、巨大市場の優位性を産業の優位性へと転化する。

開放・拡大。開放・融通、相互利益という提携の考え方を実践し、高水準の対外開放を拡大し、開放により改革、発展、イノベーションを促し、「海外からの引き入れ」と「海外への進出」を組み合わせることを堅持し、国際協力を深め、国際競争力の強化に積極的に取り組み、新エネルギー自動車産業の新たな優位性を育み、全世界の産業チェーンとバリューチェーンシステムに深く入り込む。

第三節　発展のビジョン

2025 年には、中国の新エネルギー自動車の市場競争力が明らかに向上し、動力電池、駆動モーター、車載 OS（オペレーティングシステム）などの基幹技術が大躍進を遂げ、安全水準が全面的に高まる。純電気乗用車の新車の平均消費電力が 12.0kWh/100km に低減され、新エネルギー自動車の新車販売台数の比率が約 20%となり、高度自動運転 ICV（インテリジェント・コネクテッド・ビークル）の限定区域および特定シーンでの商業的応用が実現され、充電・交換サービスの利便性が著しく向上する。

15 年の継続的な努力により、中国の新エネルギー自動車の中核技術が国際的なトップレベルに達し、品質・ブランドの国際的な競争力が高くなる。純電気自動車が販売の主流となり、公共領域に使用される自動車が全面的に電動化され、燃料電池自動車が商用化され、高度自動運転 ICV の規模化が実現し、充電・交換サービスネットワークの利便性と効率が向上し、水素燃料供給システムの構築は着実に進み、省エネと排出削減のレベルおよび社会システムの運営効率が効果的に促進される。

第三章　技術革新能力の向上

第一節　「三縦三横（3 つの垂直と 3 つの水平）」の研究開発体制作りの深化

完成車統合技術革新を強化する。純電気自動車、プラグインハイブリッド（航続距離延長型を含む）自動車、燃料電池自動車を「三縦（3 つの垂直）」とし、完成車技術のイノベーションチェーンを構築する。次世代モジュール化高性能完成車プラットフォームを研究開発し、バッテリー電気自動車のシャシーの一体化設計、マルチエネルギー動力システム統合技術の難題を解決し、完成車のインテリジェントエネルギー管理制御、軽量化、低摩擦などの省エネルギー基盤技術を進展させ、電池管理、充電接続、構造設計などの安全技術水準を高め、新エネルギー自動車の完成車の総合性能を高める。

産業基礎能力の向上を図る。動力電池と管理システム、駆動モーターとパワーエレクトロニクス、コネクテッド化とインテリジェント化技術を「三横（3 つの水平）」とし、基幹部品技術の供給システムを構築する。先進的なモジュール化動力電池と燃料電池システム技術の難題を解決し、次世代車用モーター駆動システムのソリューションを模索し、ICV 用基幹部品およびシステム開発を強化し、基礎的なコンピューティングおよび制御プラットフォーム技術、水素燃料電池自動車の応用支援技術などのボトルネックを克服し、基礎・基幹技術、先進的な基礎技術・工程、基礎・中核部品および基幹・基礎材料などの研究開発能力を高める。

コラム 1　新エネルギー自動車コア技術攻略事業
電池技術進展行動を実施する。正極・負極材料、電解液、セパレータ、膜電極などの基幹・中核技術の研究を実施し、高強度、軽量化、高安全性、低コスト、長寿命の動力電池および燃料電池システムに関する脆弱な技術の難題解決に積極的に取り組み、固体電池技術の研究開発および商業化を加速する。 **コネクティビティ技術革新事業を実施する。**新エネルギー自動車はコネクティビティ技術を

率先して応用する媒体とし、企業の業界を越えた連携を支援し、複雑な環境のセンシング融合、ICV の意思決定と制御、情報物理システムアーキテクチャの設計、車載インテリジェントコンピューティングプラットフォーム、高精度地図と測位、車車間･路車間通信（V2X）、ドライブ・バイ・ワイヤシステムなどの中核技術と製品を進展させる。

新エネルギー自動車基礎技術向上事業を実施する。自動車用規格に適合するチップ、車載 OS、新型の電気／電子アーキテクチャ、高効率・高出力密度駆動モーターシステムなどの基幹技術および製品を進展させ、水素エネルギー貯蔵および輸送、水素燃料補給ステーション、車載水素貯蔵などの水素燃料電池自動車の応用支援技術の難題を解決する。基礎的なコンポーネント、基幹生産設備、ハイエンド試験計器、開発ツール、高性能自動測定設備などの基礎・基盤技術の研究開発・革新を支援し、新エネルギー自動車のインテリジェント製造における大量の異種データの編成と分析、再構成可能なフレキシブル製造システムの統合制御などなどの基幹技術の難題を解決し、高性能アルミニウム-マグネシウム合金、繊維強化複合材料、低コストのレアアース永久磁石材料などの基幹材料の産業的応用を実施する。

第二節　基盤技術革新プラットフォームの構築の加速

リーダー企業、国家重点実験室、国家制造業イノベーションセンター間の共同研究開発・難題解決の仕組みを構築、整備し、中核技術・工程、専用材料、基幹部品、製造設備などの脆弱な分野を重点的に進展させ、さまざまな技術的アプローチで積極的に探求し、基幹・基盤技術の供給能力の向上を図る。自動車、エネルギー、交通、情報通信などの分野を跨いだ提携を導き、未来の移動のための新エネルギー自動車とスマートエネルギー、インテリジェント交通統合イノベーションプラットフォームを構築し、基礎的で学際的な基幹技術の難題解決に共同で取り組み、新エネルギー自動車および関連産業の統合イノベーション能力の向上を図る。

第三節　業界の公共サービス能力の向上

業界団体、イノベーションセンターなどの機関を拠りどころとし、各種イノベーションサービスプラットフォームの共同構築、共有を一元的に推進し、技術移転、情報サービス、人材育成、プロジェクトファイナンス、国際交流などの公共サービスのサポート能力の向上を図る。バーチャルリアリティ、ビッグデータ、人工知能などの技術を応用し、自動車の電動化、コネクテッド化、インテリジェント化のシミュレーション、テスト・検証プラットフォームを構築し、完成車、基幹部品の計量テスト、性能評価と測定認証能力の向上を図る。

第四章　新型産業エコシステムの構築

第一節　エコロジー主導型企業発展の支援

新エネルギー自動車、エネルギー、交通、情報通信などの分野の企業が業界を跨いで連携し、多元的な生産と多様な応用の需要について、開放・提携および利益共有を通じて、ソリューション、研究開発・生産、使用の保障、運営サービスなどの産業チェーンの重要な段階を網羅するエコ主導型企業を創設することを奨励する。良い産業基盤を有し、イノベーション要素が集まる地域において、リーダー企業のけん引作用を発揮し、複数の川上・川下企業が協調的に革新し、大・中・小企業が調和して発展し、国際的な影響力と競争力を有する新エネルギー自動車産業クラスターを育成し、産業チェーンの近代化水準を高める。

第二節　基幹システムの刷新・応用の促進

車載 OS の開発・応用を加速する。完成車企業の需要をけん引力とし、リーダー企業および国家製造業イノベーションセンターなどのイノベーションプラットフォームの役割を発揮させ、ソフト面での取り組みとハード面での取り組みを連携させて難題解決を図ることを堅持し、車載 OS を集中的に開発する。車載 OS について、完成車、基幹部品、基礎データとソフトウェアなどの分野の市場主体が深いレベルで提携する開発と応用のエコシステムを構築する。製品の迅速な世代交代を通じて、ユーザー規模を拡大し、車載 OS の産業的応用を加速する。

コラム２　車載 OS エコシステム構築行動
ICV の応用の需要に適応し、完成車および部品、インターネット、電子情報、通信などの分野の企業が連盟を結成し、車載 OS の開発と応用を中心とし、世代交代・高度化を通じて、OS とアプリケーションプログラムの安全性、信頼性、利便性を高め、応用規模を拡大し、開放・共有、連携・進化の好ましいエコシステムを構築することを奨励する。

動力電池のバリューチェーン全体の発展を促進する。企業がリチウム、ニッケル、ダイヤモンド、白金などの重要資源の保障能力の向上を図ることを奨励する。動力電池モジュール化規格体系を構築、整備し、基幹製造設備の進展を加速し、技術水準および生産効率を高める。動力電池の回収、カスケード利用および再資源化のリサイクルシステムを整備し、回収チャネルの共同の構築・使用を奨励する。動力電池の輸送・倉庫保管、修理・保守、安全検査、引退・退出、回収利用などの段階の管理制度を構築、整備し、全ライフサイクルの管理監督を強化する。

コラム３　動力電池の高効率なリサイクルシステムの構築
新エネルギー自動車の持続可能な発展に立脚し、生産者責任延伸制度を確実に実行し、新エネルギー自動車用動力電池トレーサビリティ管理プラットフォームの構築を強化し、動力電池の全ライフサイクルのトレーサビリティを実現する。動力電池のカスケード製品について、エネルギー貯蔵、エネルギー備蓄、充電・交換などの分野での革新的応用を支援し、残存エネルギー測定、残存価額評価、再構成・利用、安全管理などの技術の研究開発を強化する。リサイクル産業の体制を最適化し、使用済み動力電池の有価元素の効率的な抽出を推し進め、産業の再資源化、高付加価値化、グリーン化の発展を促進する。

第三節　インテリジェント製造水準の向上

新エネルギー自動車の研究開発・設計、生産・製造、倉庫保管・物流、経営管理、アフターサービスなどの基幹段階におけるインテリジェント化技術の高度な応用を促進する。新エネルギー自動車のインテリジェント製造に係るシミュレーション、管理、制御などの中核工業ソフトウェア開発および統合を加速し、インテリジェント工場、デジタルワークショップの応用・試験を実施する。製品の全ライフサイクルにおける共同管理システムの推進・応用を加速し、設計・製造・サービスの一体化した試験プラットフォームの構築を支援し、新エネルギー自動車産業チェーン全体のインテリジェント化水準の向上を図る。

第四節　品質安全保障の強化

品質・ブランド構築を促進する。新エネルギー自動車製品の品質向上行動を実施し、企業が設計・製造・テスト検証などのフルプロセス信頼性技術の開発・応用を強化し、インターネット、ビッグデータ、ブロックチェーンなどの先進技術を十分に利用し、製品の全ライフサイクルにおける品質管理とトレーサビリティ体制を整備するよう導く。企業がブ

ランド発展戦略を強化し、品質およびサービスレベル向上を重点としてブランド構築を強化するよう導く。

安全保障体制を整備する。企業による責任負担、政府による監督、業界自律および社会監督を組み合わせた安全生産体制を実行する。製品安全への企業の主体責任を強化し、生産者責任延伸制度を実行し、完成車および動力電池、電気制御などの基幹システムの品質安全管理、安全状態のモニタリングと修理・保守を強化する。新エネルギー自動車の完成車、部品および修理・保守、充電・バッテリー交換などの安全規格を整備し、安全生産の管理監督と新エネルギー自動車の安全リコール管理を強化する。業界団体が技術交流を強化することを奨励し、経験を整理、総括し、企業が絶えず安全水準の向上を図るよう指導する。

第五章　産業の調和的発展の促進

第一節　新エネルギー自動車とエネルギーとの調和的な発展の促進

新エネルギー自動車と電力ネットワーク（V2G）のエネルギーとの連動を強化する。サイクル寿命が長い動力電池技術の難題解決に力を入れ、低電力直流化技術の応用を促進する。地方で V2G 試験・応用を実施し、新エネルギー自動車の充放電、電力配分の需要を統括し、時間帯別の電気料金、新エネルギー自動車の充電の優遇などの政策を総合的に運用し、新エネルギー自動車と電力ネットワークのエネルギーの効率的な連動を実現し、新エネルギー自動車の電力使用コストを低減させ、電力ネットワークの電力供給調整、周波数調整および安全・緊急対応などの対応能力の向上を図る。

新エネルギー自動車と再生可能エネルギーとの効率的な調和を促す。新エネルギー自動車と気象、再生可能エネルギー電力予測予報システムの情報共有と融合を促し、新エネルギー自動車のエネルギー利用と風力発電や太陽光発電の電力の協調供給を統合し、再生可能エネルギーの比率を引き上げる。「光儲充放」（分散型太陽光発電-エネルギー貯蔵システム-充放電）多機能一体型総合施設の建設を奨励する。条件を備えた地域での燃料電池自動車の商業的試行を支援する。

第二節　新エネルギー自動車と交通の調和的発展の促進

一体型スマートモビリティサービスを発展させる。前段階の情報収集、分散型エッジコンピューティング、クラウド協調制御を網羅する新型の高度道路交通管理制御システムの構築を加速する。新エネルギー自動車のタイムシェアレンタル、都市公共交通、カーリース、構内専用車両などの分野の応用を加速し、公共サービス分野における新エネルギー自動車の利用環境を最適化する。自動車生産企業およびモビリティサービス企業が共同で「ワンストップ型」のサービスプラットフォームを構築し、自動バレーパーキング技術の発展と応用を推進する。

インテリジェントグリーン物流・輸送体系を構築する。新エネルギー自動車の都市物流、港湾作業などの分野の応用を促進し、新エネルギー貨物車両の通行の便宜を図る。「インターネット＋」の効率的な物流を発展させ、スマート物流運営モデルを革新し、ネット貨物輸送、トレーラ共有などの新モデルの応用を普及させ、安全で効率的な物流・輸送サービスの新業態を構築する。

第三節　新エネルギー自動車と情報通信の調和的発展の促進

データを架け橋とする「人-車両-道路-クラウド」の効率的な協調を推進する。車載センサ、交通管理、都市管理などの情報に基づき、「人-車両-道路-クラウド」の多層的なデータ融合と計算処理プラットフォームを構築し、特定のシーン、地域および道路の試

験・応用を実施し、新エネルギー自動車と情報通信の融合応用サービスのイノベーションを促す。

ネットワーク安全保障体系を構築する。新エネルギー自動車ネットワークの安全管理制度を整備し、統一された自動車の本人認証とセキュリティ信用体系を構築し、暗号技術の高度な応用を推し進め、車載情報システム、サービスプラットフォームおよび基幹電子部品の安全検査を強化し、新エネルギー自動車のデータ等級分類とコンプライアンス応用管理を強化し、リスク評価、早期警告・モニタリング、緊急対応の仕組みを整備し、「端末-回線-クラウド」の各段階の情報セキュリティを保障する。

第四節　規格の整合化とデータ共有の強化

新エネルギー自動車と関連産業の調和的発展のための総合的な規格体系を確立し、車載OS、自動車用ベースマップ、自動車用充電スタンド情報の共有、クラウド管理基礎プラットフォームなどの技術のインターフェース規格を明確にする。業界横断型、分野横断型の総合ビッグデータプラットフォームを構築し、各種データの共同の構築、共有と相互接続を促進する。

コラム４　スマートシティ新エネルギー自動車応用・試験行動
インテリジェントで秩序立った充電、新エネルギー自動車と再生可能エネルギーの調和的発展、都市インフラストラクチャと都市間インテリジェント交通、異種混合マルチモード通信ネットワークの融合に関する総合モデル事業を実施し、ICV をキャリアとする都市無人運転のモビリティシェアリングサービス、物流・配送、市政・環境衛生、バス高速輸送システム（BRT）、自動バレーパーキングおよび特定シーンでの試験・応用を促進する。

第六章　インフラストラクチャ整備の実施

第一節　充電・バッテリー交換ネットワークの構築の促進に注力

充電・バッテリー交換インフラストラクチャの整備を加速する。充電・バッテリー交換インフラストラクチャを合理的に配置し、都市・農村の建設計画、送電網計画、不動産管理、都市部の駐車などの統制・協調を強化する。「インターネット＋」スマートエネルギーを拠りどころとしてインテリジェント化水準を高め、インテリジェントで秩序ある普通充電を主とし、緊急時の急速充電を補助とする居住区充電サービスモデルを積極的に普及、推進し、適度に先進的で、緊急時の急速充電を主とし、普通充電を補助とする高速道路と都市・農村の公共充電ネットワークの構築を加速し、バッテリー交換モデルの応用を奨励し、インテリジェントで秩序立った充電、高出力充電、ワイヤレス充電などの新型の充電技術の研究開発を強化し、充電の利便性および製品の信頼性を高める。

充電インフラストラクチャのサービス水準を高める。企業が共同で充電施設運営サービスプラットフォームを構築し、相互接続、情報共有と統一的な決済を実現するよう導く。充電設備と配電システムの安全のためのモニタリング・早期警告などの技術の研究開発を強化し、ワイヤレス充電施設の周波数帯の使用を標準化し、充電施設の安全性、適合性、信頼性を引き上げ、サービス保障水準を高める。

ビジネスモデルの刷新を奨励する。高経年住宅団地改修、都市更新などの業務と組み合わせ、多方面において共同で充電施設の構築・運営を実施するよう導き、居住区域の複数の車両間の充電スタンドの共用、隣接する駐車スペース間の共用などの協力モデルの発展を支援する。充電エリアと商業エリアとの組み合わせを奨励し、駐車と充電の一体化サービス施設を建設し、公共場所の充電サービス能力を高め、付加価値サービスを拡大する。

充電施設保険制度を整備し、企業の運営およびユーザーの使用におけるリスクを低減する。

第二節　インテリジェント道路ネットワーク施設の建設の協調的推進

次世代無線通信ネットワークの建設を推進し、セルラー通信技術に基づく車車間およびその他の装置間の無線通信（C-V2X）の規格制定と技術の高度化を加速する。交通標識などの道路インフラストラクチャのデジタル化のための改造・高度化を推進し、交通信号灯器、交通標識・区画線、通信施設、インテリジェント路側設備、車載端末間のインテリジェントな相互接続を強化し、都市道路インフラストラクチャのインテリジェント化建設・改造に関する規格の制定と管理プラットフォームの構築を推進する。ディファレンシャル GPS の基準局の建設を加速し、北斗衛星測位システムの高精度測位分野における応用を促進する。

第三節　水素燃料供給システムの構築の秩序正しい推進

水素燃料の製造・貯蔵・輸送の経済性の向上を図る。地域の実情に応じて工業プロセスの副産物としての水素および再生可能エネルギー由来水素の製造技術の応用を実施し、先進的で使用に適した水素貯蔵材料の商業化の推進を加速する。高圧気体、極低温ガス、低温液体および固体などのさまざまな形式の貯蔵・輸送技術の試験・応用を実施し、水素ガス輸送パイプラインの建設を模索し、水素燃料の貯蔵・輸送コストを段階的に低減する。水素燃料の製造・貯蔵・輸送・充填などの標準体系を整備する。水素燃料の安全研究を強化し、チェーン全体の安全について管理監督を強化する。

水素充填インフラストラクチャの建設を推進する。水素充填インフラストラクチャの管理規範を確立する。企業が水素燃料の供給、消費需要などに基づき水素充填インフラストラクチャを適正に配置し、安全運用の水準を引き上げるよう導く。既存の用地および施設を利用して、油、ガス、水素、電力の総合供給サービスを提供することを支援する。

コラム５　インテリジェント・インフラストラクチャサービスプラットフォームの構築
充電・バッテリー交換技術とインターフェース、水素充填技術とインターフェース、自動車用水素貯蔵装置、自動車用通信プロトコル、インテリジェント道路の建設、データ伝送と決済などの規格の制定・改正を統括し、インフラストラクチャの相互接続に関する規格体系を構築する。企業がインテリジェントインフラストラクチャ、高精度ダイナミックマップ、クラウド管理基礎データなどのサービスプラットフォームを構築し、充電・バッテリー交換、水素の充填、インテリジェント交通などの総合サービスの試行事業を実施し、インフラストラクチャの相互接続およびインテリジェント管理を実現するよう導く。

第七章　開放・提携の推進

第一節　開放と交流・提携の拡大

国際的な通商ルールへの対応を強化し、参入許可前の内国民待遇＋ネガティブリスト管理制度を全面的に実行し、新エネルギー市場主体を同一視し、ビジネス環境の市場化、法治化、国際化を実現する。多国間・二国間協力の枠組みおよびハイレベル対話の枠組みの役割を発揮し、国内外の企業、科学研究機関、業界団体が研究開発・設計、貿易・投資、インフラストラクチャ、技術資格、人材育成などの分野での交流・提携を実施することを支援する。国際ルール・規格の制定に積極的に関与し、開放的で、透明性が高く、包摂的な新エネルギー自動車に係る国際的な市場環境の形成を促進し、国際提携のための新しいプラットフォームを構築し、共同発展のための新しい原動力を注ぐ。

第二節　全世界のバリューチェーンへの参入の加速

企業が国際発展戦略を制定し、国際競争力を絶えず高め、国際市場の開拓を強化し、産業協力の生産製造段階から共同研究開発、マーケティングなどのフルチェーンへの延伸を促進するよう導く。企業が国内外の資金を十分に活用し、国際消費者信用貸付体系を構築することを奨励する。企業が国際マーケティングサービスネットワークを構築し、重点市場で海外倉庫貯蔵とアフターサービスセンターなどのサービスプラットフォームを共同構築することを支援する。法律相談、検査認証、人材育成などのサービス保障体系を整備し、企業による海外経営行為の規範化を指導し、コンプライアンス管理水準の向上を図る。

第八章　保障措置

第一節　業界管理改革の深化

「放管服」（行政のスリム化と権限委譲、管理監督能力の強化と権限委譲との両立、行政サービスの最適化）改革を踏み込んで推進し、市場参入をより一層緩和し、包容力を有しかつ周到慎重な管理監督を実施し、新業態・新モデルの健全かつ秩序的な発展を促進する。企業平均燃料消費量・新エネルギー自動車ポイント並行管理弁法を整備し、効果的に財政補助金政策を引き受け、炭素取引市場と連携する仕組みを研究・構築する。事中・事後管理監督を強化し、地方主体の責任を定め、新エネルギー自動車完成車製造事業の盲目的な立ち上げなどの混沌とした状況を抑止する。路上走行自動車の生産・管理に関する法規の整備を推し進め、ゾンビ企業の撤退の仕組みを構築し、企業の参入条件の維持状況の監督・検査を強化し、優勝劣敗を促進する。市場メカニズムの役割を充分に発揮させ、優位性のある企業の合併再編を支援し、より大きく、より強くし、産業の集中度をさらに高める。

第二節　政策法規体系の整備

新エネルギー自動車関連の税制上の優遇措置を実施し、交通分類管理および金融サービスなどの措置を最適化する。充電・バッテリー交換、水素充填などのインフラストラクチャの合理的な配置を推し進め、建設を加速し、公共施設の充電ステーション建設に対して財政的支援を提供する。地方保護を破棄し、統一・開放されかつ公平な市場体系を構築する。地方政府が公共サービス、モビリティシェアリングなどの分野での車両運営への支援を強化し、新エネルギー自動車の駐車、充電などに関する優遇措置を付与することを奨励する。2021 年から、国家生態文明試験区、大気汚染防止重点区域の公共領域に追加又は更新されるバス、タクシー、物流・配送などの車両に占める新エネルギー車の割合は 80%を下回らない。新エネルギー自動車研究開発への投入を国有企業考課体系に取り入れる具体的な弁法を制定する。ICV の発展要求に適する道路交通、事故責任、データ使用などに関する政策法規の整備を加速する。動力電池の回収利用の法律制定を加速する。

第三節　人材チームビルディングの強化

新エネルギー車と関連産業の調和的発展の需要に適した人材育成体系の確立を加速し、業界で不足している人材のリストを作成し、自動車の電動化、ネットワーク化、インテリジェンス化分野の学科の設置を最適化し、高等教育機関、科学研究機関および企業がグローバル人材の誘致と育成を強化するよう導く。企業家精神と職人精神を発揚し、前向きなインセンティブの方向性を確立し、株式、オプションなどの多元的なインセンティブ措置を講じる。

第四節　知的財産保護の強化

国家知的財産戦略を踏み込んで実施し、科学研究者が新エネルギー自動車分野において高価値の核心的な知的財産成果を生み出すことを奨励する。知的財産保護制度を厳格に執

行し、権利侵害行為に対する法執行を強化する。新エネルギー自動車知的財産運営サービスシステムを構築し、専利運用・実用化プラットフォームの構築を強化し、相互利益・共有、提携・互恵の専利運営モデルを構築する。

第五節　組織連携の強化

省エネルギーと新エネルギー自動車産業発展部局間連絡会議制度と地方連携の仕組みの役割を十分に発揮させ、部門の連携および上下の連動を強化し、年度業務計画と部門任務分掌を制定し、新エネルギー自動車とエネルギー、交通、情報通信などの産業の政策・計画、規格・法規などにおける統括機能を強化し、計画で確定した重大任務と重点業務を迅速に、具体的に、細部にわたって行う。各関係部門は、計画の目標・任務を巡って、職能分掌により本部門の業務計画および付帯政策措置を制定しなければならない。各地域は、当地の実情に応じて実施案を制定し、産業構造を最適化し、重複建設を避ける。業界団体は企業と政府との架け橋の役割を十分に発揮し、業界を越えた交流・協力のプラットフォームを連携して構築しなければならない。工業・情報化部は、関係部門と協力し、調査研究を踏み込んで実施し、追跡指導を強化し、計画の円滑な実施を推し進めなければならない。